資料４

第５回デジタル人材推進協議会
デジタル人材育成の取組及び必要性について

滋賀大学の特色ある産学連携での教育事例並びに
教育学部及び経済学部でのデータサイエンス教育の取組について

概要説明

令和８年３月３日

SHIGA UNIVERSITY 滋賀大学

産業界と連携したデータサイエンス教育、特色ある産学連携での教育事例

滋賀大学

滋賀大学データサイエンス・AIイノベーション研究推進センターによる産業界向け人材育成の三本柱

- 大学院(修士/博士)社会人派遣院生
- 企業/業種向けカスタマイズ人材育成
- オンライン教材作成・提供

カスタマイズ人材育成

- トヨタグループデータサイエンス実践道場
- 日野データサイエンス塾
- 東海旅客鉄道株式会社向け人材育成
- 阪神電気鉄道株式会社向けデータ活用による課題解決アプローチ実践研修
- 医薬品・医療機器メーカー向けデータサイエンス人材育成プログラム

トヨタグループデータサイエンス実践道場

班の構成

- 師範2名：初年度は滋賀大学教員のみ
- 師範代2名：ドメイン知識・現場事情提供
- 入門生数名：各々現場の課題を持参して参加
  - 修了生は次年度以降、師範・師範代を担当

方式

- 毎月の指導会での指導
  - 他の入門生への指導も参考になる
- 最終発表会

拡大

- 規模：初年度4班⇒25班
- 参加企業：トヨタグループ⇒関連会社も
- 参加大学：滋賀大学のみ⇒4大学

大学院社会人派遣院生

- 長期履修制度
- 博士前期課程の講義は1講義/1週の集中講義
  - 履修しない講義の週は職場に戻ることも可能
- 講義・ゼミともオンライン受講可
  - 遠方在住のまま修了も可能
  - 登校しての”横の繋がり”も重要

社会人入学状況

入学者数/定員（企業・国・自治体等からの社会人入学者数）

	博士前期	博士後期
2019	23/20(19)	–
2020	24/20(15)	3/3(1)
2021	43/40(14)	3/3(2)
2022	46/40(17)	5/3(2)
2023	50/40(20)	3/3(0)
2024	53/50(19)	4/3(1)
2025	82/80(23)	6/3(1)

オンライン教材作成・提供

オンライン講義動画

- 大学生のためのデータサイエンス1
- 大学生のためのデータサイエンス2
  - 機械学習編
- 大学生のためのデータサイエンス3
  - 問題解決編
- 大学生のためのデータサイエンス4
  - データ研磨編

ハンズオン教育プログラム

- DX人材育成のためのPythonを用いた予測分析

滋賀大学数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム

滋賀大学

プログラムの目的・特色

特色①　国内最大規模のデータサイエンス（ＤＳ）教育研究拠点

・全国に先駆けた本格的なデータサイエンス教育の実績
（平成29年度…データサイエンス学部、31年度 データサイエンス研究科）
・リテラシーレベル教育の全学的展開（R3.8.4　リテラシープラス選定）
→全学生にデータサイエンスリテラシーの素養（令和４年度より全学必修化）
・リテラシーレベル教育の基盤の上に、各学部の専門性に応じた応用基礎レベル教育の提供
→R4.8.24　全学部応用基礎レベル認定（データサイエンス学部はプラス選定）
・「数理・データサイエンス・AI教育の全国展開の推進」拠点校（全国立大学のうち11校）

特色②　各学部の専門性に応じたプログラム

データサイエンス学部→全学部生が履修、選択項目群もカバーする最先端の内容
教育学部→「教育データサイエンティスト養成プログラム（令和２年度開始）」との連携
経済学部→「データサイエンス副専攻（平成29年度開始）」との連携

特色③　多数の民間企業等と連携し、実データを用いた分析や演習

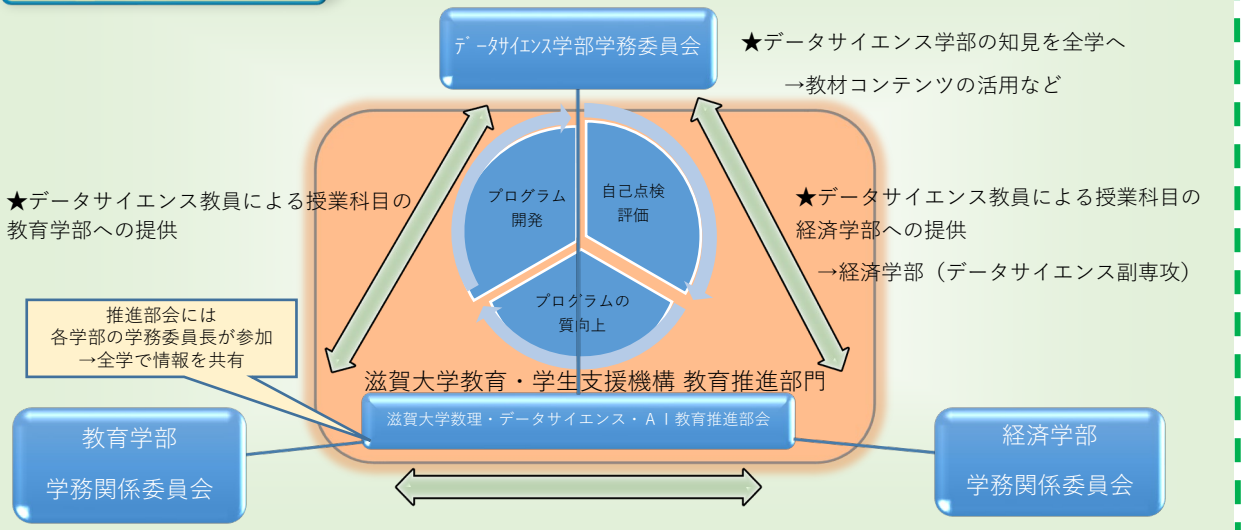
特色④　MOOC教材の全国無料配信、他大学への教材提供

育成イメージ

数理・ＤＳ・ＡＩ教育の全学的展開
→全学部で応用基礎レベル教育を推進

実施体制

全学 教育・学生支援機構に設置の推進部会で点検・評価



カリキュラム

★修了要件（データサイエンス学部）

１４科目全て必修。「基礎科目群」から７科目１４単位、「専門科目群」から７科目１４単位、合計２８単位を修得すること。

★修了要件（教育学部）

基礎科目群から３科目６単位、専門科目群から２科目４単位、演習科目群から１科目２単位以上、合計１２単位以上を修得すること。

★修了要件（経済学部）

基礎科目群から３科目６単位以上、専門科目群から３科目６単位以上、合計１２単位以上を修得すること。

応用基礎レベル修了生　198名（教育：7名　経済：13名　DS：178名）
※令和7年春学期時点

令和７年度からは生成AIの応用に関する内容を追加し、データサイエンス・AI教育を更に強化

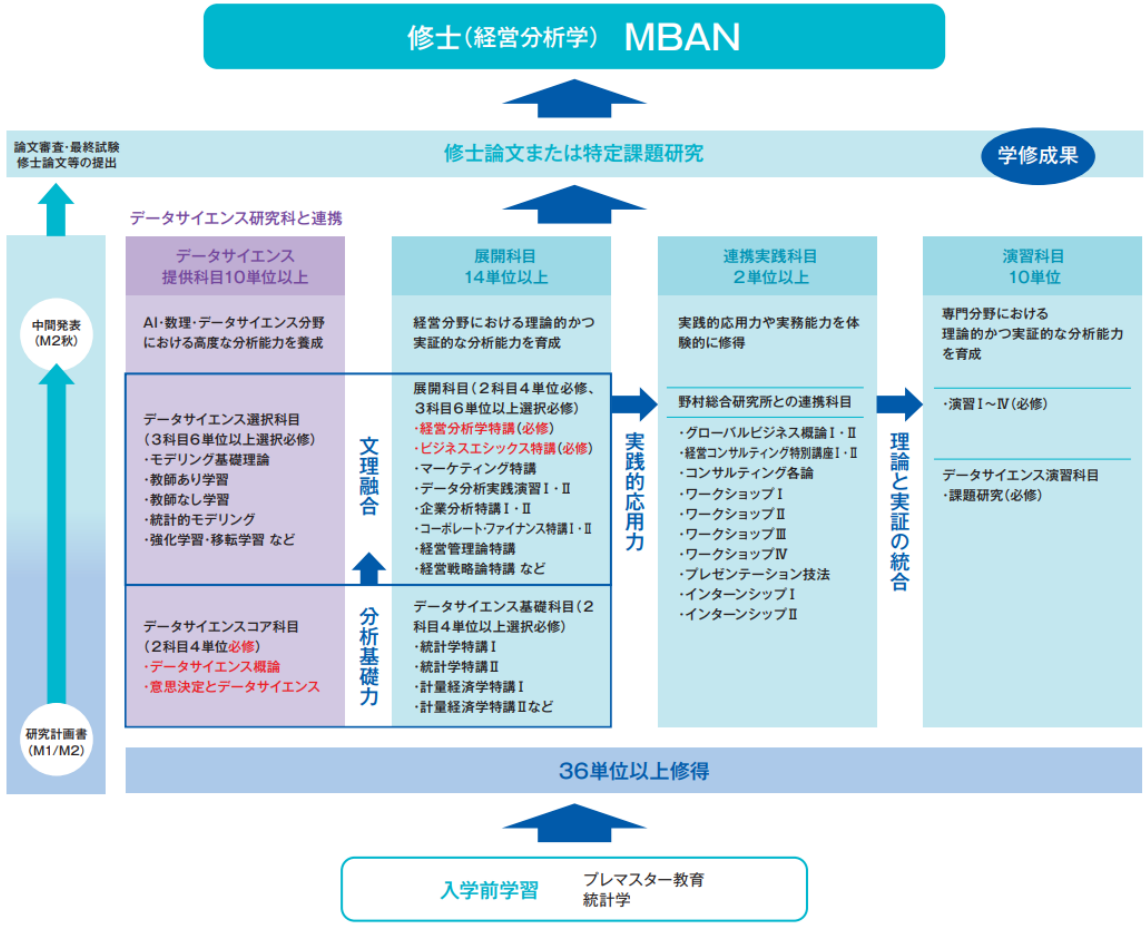
【経済×データサイエンス】プログラム
経済学研究科経営分析学専攻（MBAN）

企業が求めるデータ活用力を備えた経営人材の育成
DXの進展により、経営企画・マーケティング・人材マネジメントなど文系領域でもデータ分析スキルが必須

日本初の学位「修士（経営分析学）」を設置（令和6年4月）
経済・経営の専門知識に、データサイエンスの実践的スキルを融合
⇒“経営×データ”を二刀流で扱える高度人材を育成

プログラムの特徴
①経営判断に直結するデータ分析（需要予測・財務データ解析等）を実践
②文理を問わず学べる体系的カリキュラム
③企業のDX推進部門・経営企画などあらゆる分野で活躍可能

今年度に第１期修了生輩出予定



【教育 × データサイエンス】プログラム
教職大学院教育データサイエンス人材育成プログラム

教育現場に広がる“データ活用ニーズ”に対応
学習ログ・校務データ・評価情報など、教育のあらゆる場面で データに基づく指導・学校運営の需要増加

教育データサイエンス実践学のエキスパート育成
令和6年4月に開始した新プログラムでは、教育データの分析・活用を専門的に学び、教育現場で実践きる人材を養成

プログラムの特徴
①所定単位を修得することで専修免許状に「教育データサイエンス」を付記（滋賀県教育委員会）
②データに基づく校務改善や個別最適化学習に貢献できる人材を育成

今年度に第１期修了生輩出予定

概要